

# 新潟シティガイド

一人一人の独自の視点がおもしろくするまち歩き

NPO法人  
まちづくり学校事務局長



山賀 昌子 様

まち歩きはここ数年ブームとなっており、全国各地で行われています。さまざまスタイルがありますが、ボランティアガイドさんの役割もその楽しさを生み出したり広げる大きなチカラになっていきます。

NPO法人まちづくり学校では、新潟市観光政策課さんが主催する「みなとまち新潟」観光ボランティアガイド養成講座を通じて、ガイドの養成をお手伝いさせていたできてきました。そうした長年のご縁の中で、私たちは新潟シティガイドのみなさんの高いスキルや向上心にいつも敬服するばかりです。

また、多くの人に新潟のまちの魅力を伝えようとすむ熱意や自らの活動を楽しみ、心を通わせ、心が温かくなります。

仕事の参考にしたり調べもののために、各地のボランティアガイドさんのご案内でまち歩きを行うことがありますが、それぞれに独自のやり方や個性があつて楽しく、本来は比べるものではないかもしれませんが、新潟シティガイドの高さは抜群に飛び抜けていると感じています。さて、まちづくり学校では「ブランニイガタ」というまちあるき事業を二〇一三年から本格的にスタートしました。私たちは人材育成を中心に、全国各地のまちづくり活動の支援を行っており、その際には必ず「まち固有の資源（魅力）」を再確認したり、新たな視点で見つめ直し、価値の再定義や再評価を行う重要性をお伝えしています。

こうして「まち固有の資源（魅力）」がそのまちを

NO. 24号  
《編集発行》  
新潟シティガイド  
《発行人》  
関 克人

- ・聞いたことは忘れる
- ・見たことは思い出す
- ・体験したことは理解する
- ・発見したことは身につく



ブラニイガタ イン タガミ

もつと良くする“タネ”になつていくからです。そうしたまち歩きを通じて、「まちには楽しいことや学びになるものがたくさんある」と私たちは知っていました。まちづくりの過程の一つとしてのまち歩きだけでなく、もつと多くの人達に気軽な気持ちでまちに関心を持ってもらいたい、いろんな人達がそれぞれの視点で見えるまちのおもしろさや楽しさを分かち合いたい、多様な視点で見つけたまちの魅力をそのまちのまちづくりに活かしていた

「ブラニイガタ」を始めました。さまざまな人と一緒に歩くと、人それぞれの視点の違いに驚かされ、何気ないものが新たな発見となります。毎回、とても楽しく進めています。きっとシティガイドのみなさんも、お客様にまちの歴史や文化などを伝えるだけではなく、そのガイドさん個々独自のまちの視方を提供しているのだと思います。また、多様なお客様との出会いの中で、自分自身にはなかった視点にも気づくことでしょうか。

こうした「まちを見る視点の交換・交流」もまたガイド内容に深みを与えてくれることと思います。まちの「情報」や「知識」を得る楽しさのみならず、まちの見方の多様性をおもしろいと理解する人が多くなっていることもまち歩き人気の一因かもしれません。

諸先輩方に申し上げるのは誠に僭越であり恐縮いたしますが、新潟シティガイドのみなさんがこれからは楽しいガイドをしてください、新潟の魅力を伝道師として活躍されることを心より期待いたします。

初めて歩く新潟の町は、中学一年生にとつてどの様に心に残ったのだろうか？美術館の正面玄関から右手に見える浜手の松林と住宅。

「これから坂を登り山登りをするよ。」と声をかけ、細い地獄極楽小路を進み、旧二葉中学へ続く坂道を一歩一歩ゆつくりと登る。

今日は風が強い。みんな吹き飛ばされそう。海をみると佐渡は厚い雲に覆われて薄っすらとしか見えないうが、遠くから白波が押し寄せてくる。ワーッと歓声が上がると、夕日が左に沈む。そして、夕日が左に沈む写真を見てみる。

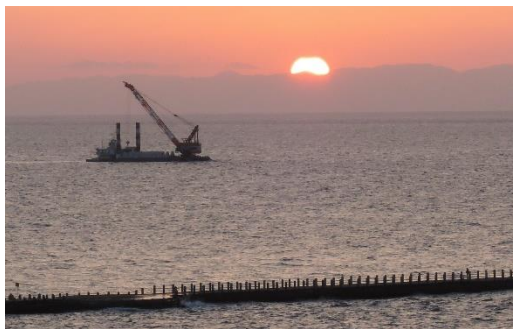
「地球は自転しているんだ。夕陽が沈む位置は少しずつ変わるんだよ。」と説明。松林の遊歩道には傾斜が大きいことに驚いた。シベリアからの季節風で松が傾いているのである。砂防の為に多くの年月をかけて植



山下 範子

ガイド日誌  
初めての中学生ガイド

功績を遺した川村奉行像の立つ山の上で何を感じたのだろうか？



西海岸公園 歩道橋より

松林を抜け、戊辰役殉難者墓苑に入った。子供達と年の違わない墓碑銘に心が痛む。同じ日本人同士が幕末に戦い、その戦場が新潟であった事、旧新潟大学跡地で発見された幕府軍九十二遺体が一緒に葬られていると言うと驚きと神妙な顔になった。深々と礼をし、手を合わせて後にした。

戦後七十年が経ようとしている。この護国神社の参道に並ぶ歩兵、特攻隊などの碑を見て何かを感じることもできたのだろうか。そんなに古い昔の事ではない。

もう一度ふり返り、護国神社に手を合わせた。 護国神

えんでこデビュー



皆川 越男

えんでこデビューは、コース選択の希望もくんでもらったので、「新潟町と新潟の医学のルーツを巡るコース」を選択しました。

私事ですが、私には新潟大学医学部を卒業した兄がおりましたが、医師となつた後、早く逝ってしまいました。そんな想いもあり、ガイドをしながら兄の面影

そんな個人的な想いはともかく、当日ご案内していた静岡県出身の女性の方から、こんなユニークな質問がありました。 「新潟は以前、裏日本と呼ばれていたけれどくやくしくはありませんでしたか」 そんな質問には自分なりの想いを語るほかはなかったのですが・・・



刑場跡石碑

も追っていました。 また、先般は「学校町・関屋・旧北国街道をたどるコース」を案内いたしました。このコースは個人的にも自身の青春時代を思い起こさせる道程なのですが、学校町に首晒の刑場跡があるとはガイドになるまで知りませんでした。

また、ある男性の方がコース巡りも終わりの頃、堀割町の成り立ちについて質問がありました。「やや！シナリオにもないし、コース外だし」と思っ、正直

立ち寄り

いきなり団子食べました



福山 忠利

に、よく承知してないと答えようとしたら、やはり当日のお客様で、当エリア深澤先輩のお知り合いで郷土史に大変詳しいという方がおられ、私に代わり説明していただきました。 でもその方は、道中おそれく私より数段深い学識をお持ちだったのでしようが、私のつたない説明にも熱心に耳を傾けていただき、そして、本当に困ったときに助けてもらい感謝・感謝でありました。

前号で「いきなり団子」と「行形亭」の記事がありました。私は子供のころより団子、餅菓子が大好きで、美味しい店があると聞くと自転車に乗って買いに行き食べて満足していた、かわ



「くま純」の「いきなり団子」

いい？中学生でした。 その後、全国の有名店を食べ歩き、結論は、団子、餅菓子は新潟が一番おいしい！！と勝手に決めていました。 八月下旬、伊勢丹で九州物産展のチラシが入り熊本市の「くま純」の「いきなり団子」も出店とあり、当日、朝一番に買いに行き満足しました。 翌月上旬、三越にも九州物産展があり、また買いに行き、腹イッパイ食べました。 さて、団子、餅菓子の話は一休みして、ガイドの話

訳の人からのものがありません。ガイドのお札と青年も無事に日本を出発したと、特に新潟（佐渡ヶ島を含めて）が素晴らしいと言っていたとありました。予約のいらぬまま歩きを担当した時のことです。その青年はガイドの途中、行形亭の内玄関のザクロの木を見て、青年はそこから動こうとはしません。通訳の話ではザクロはスペインの国花で子宝に恵まれる「幸せの木」とのことでした。ザクロジュースはスペインではグラナチアンといわれ健康飲料として多くの人に愛用されているとのことでした。私には彼がグラナダ、グラナダと言っているように聞こえました。故郷を思い出していたのでしょうか。私は日本のザクロの迷信などを彼らに話しました。今、テーブルの上のザクロを見ながら、あの時のスペインの青年のことを思い出しています。さて、話を団子、餅菓子に戻しましょう。新潟の「三大饅頭」は「大手まんじゅう」、「乙まんじゅう」、「明治まんじゅう」といわれているのか？

でも、私は勝手に世界で一番美味しい饅頭が新潟市にあると思っています。店の名前は内緒です。十月に「女池まち歩き」のイベントに参加して、この町にも珍しい饅頭があると情報を入手して、居ても立っていられず、買いに行きお腹いっぱい食べ満足しました。早速、仲間にメールで情報をいれました。美味い、珍しい饅頭の情報を教えて下さい。饅頭で新潟の「まち興し」ができたら？と思っています。



荒木 信夫

千の風モニュメント

ゆく河の流れは絶えずして、しかももとの水にあらず…… 鴨長明の言葉である。今ほどテロ・温暖化・スマホと絶えず目まぐるしい時代は曾てない。こんなことを静かに考える絶景のスポットがある。「千の風モニュメント」である。川・湊・船の交わる

千の風が吹いている。ベンチがあり、静かに物思いに耽る絶景の場所である。歌碑建立地が二転三転した。「みなとびあ」を推薦した。まだここは河口の中にあつた。県の事業の埋め立て地となり、その後県から市へ譲渡される事をしり強引に誘致した。



千の風モニュメント

この地は信濃川から舂川・早川堀に続く堀があり、歴史的に欠かせない地で憩いの場所に変身した。モニュメントは市民の手で寄付を募り完成した。そして延長線上に七年間の苦勞の決果、八十七本のヤナギ等の早川通が完成した。千の風散歩道の市募集として選定された。予算を募りオルゴール設置の予定である。

先日、ローマで『国境なき合唱団』として赴いた。ローマ・フェレンツェ・ピサ・ベニス・ミラノなど訪ねガイドさんと楽しんだ。私も補足的にガイドし、地下鉄の乗り方、フリータイムで会話式のガイドをした。しかし、現地では厳しい規制がある。違反すると百倍の罰則があり、監視員が目光らせている。ガイドは写真入りの大きな証を胸にかけて堂々と説明している。ガイドは住所地に籍がないと絶対にできないシステムになっており、一人で複数の都市のガイドは厳禁でありエリア制を犯してはならない。

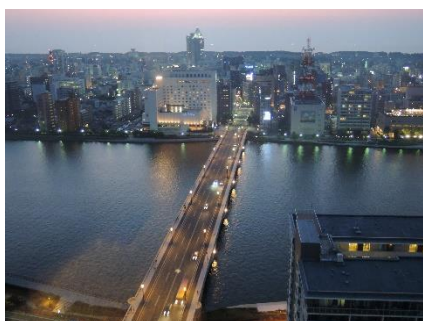
ガイドは誇りと自信をもって生き生き活動している。千の風モニュメントは、ゆっくり寛ぎ、新潟みなどの歴史を黙想するスポットである。

おすすめスポット

高層からの夕景



伊藤 恭子



メディアシップ「そらの広場」

山梨へ旅行した折に、太陽が山の端に沈むのを見て新鮮に感じた。帰路、米山SAで日本海に沈む夕陽を見ていると、新潟に帰ってきた気になる。その日も夕陽は、空の雲を茜や紫に染めてゆっくりと沈み行っていた。陽は春から夏は佐渡へ、秋から冬は日本海へ直接落ちていく。海岸から日本海に沈み行く夕陽はほんやりと眺めるのもよいが、この頃は、メディアシップの二〇階「そらの広場」に立ち寄ることがある。夕刻に行くと、空が明るいブルーから深いブルーへと変わっていく。ぼつり・ポツと家の明かりがともる。足元に萬代橋のアーチが見え、信濃川の兩岸を車のライトが流れていく。

河口の港には、佐渡汽船・北海道航路の大型船が停泊している。対岸の明かりは、「みなとぴあ」のライトアップ。船の旅に誘っている様だ。夜の工場見学が人気の東区の工場の明かりも遠くに見える。日中よりも町の形がくつきりと浮かび上がる様に思う。

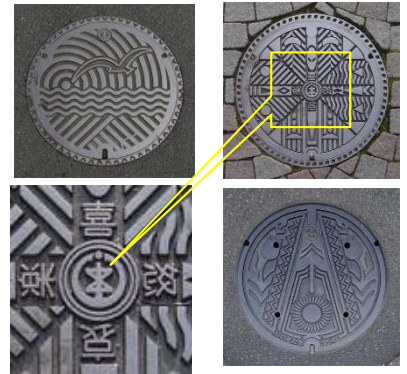
これからは、空が高くなり、空気が澄みます。まち歩きへの帰りに一列車又は、一バス遅らせて、新潟の夕景をのんびりと眺めるのはどうでしょうか。

マンホールの蓋に注目



大橋 和子

新潟市まちづくり講座、で講師として来られた方がマンホールの蓋に「喜怒哀楽」と表示されていて面白とお話をされたことを、ふと思ひ出し、全然気にも留めていなかったマンホールの蓋を注意して見るようになりしました。早速ガイドの下見でNEXT21を出発すると、すぐに一個発見。丸い蓋には文字に合わせた眺顔も彫られていてしばし眺



マンホールの色々な蓋

めてしまいました。ショッピングの時などにも気を付けて歩き数個みつけました。喜怒哀楽は古町・西堀界隈でしか見つけていません。時々ご案内の時、お客様にご紹介すると、皆さん「へー」とビックリした様子。その後、時々マンホールの蓋が目が行くようになりました。萬代橋をイメージしたと思われるもの、左右にチューリップ、真中にヒマワリを配した物、下町ではカモメが飛んでいる物もありました。一面小さなテトラポット型や亀甲型を並べたもの。汚水・N.T.T.・ガス等と記載されているものなど色々あるんですね。時々下を見て、私自身も楽しみながガイドしたいと思えます。

会員紹介

お名前	写真	お住まい	趣味	関心のある事	抱負
斎藤 則子 (下町G)		中央区	・パッチワーク ・陶芸 ・マジック	・地域の茶の間を作り(町内)ボランティア活動をしたい。	念願のシティガイドになれたと思ったら、体調を崩し今はお休み中。早く、復帰したいと思っています。
須田 秀夫 (下町G)		東 区	・読書 ・ドライブ	・古い町並みと歴史	いにしえの新潟を残す神社・仏閣・街々の趣きも私なりに伝えていければと思っています。
高橋 憲子 (白山G)		中央区	・野菜と花作り ・民謡 ・卓球	・新潟の食文化 ・新潟の民謡	楽しかったなあー、もう少し一緒に歩きたかったと思ってもらえる様なガイドが出来たらと思います。
古川 修一 (西大畑G)		中央区	・るみ子さんとの旅行 ・孫の監視、観察 ・知人との飲み会	・るみさんと喧嘩のない生き方 ・無料講演会の聴取	一度でもお客様に笑って頂けるガイドが出来ればと思っています。

HPに寄せられた礼状

〇〇ガイド様

八月二十七日は、熱心なご説明を有難うございました。小澤邸、齋藤家別邸そのものの御案内をはじめ、花街の細かなところまで、そして、街をつなぐ道(そして堀跡)を解説していただき、一人では絶対にわからないところでした。ガイドさんの郷土愛を感じる解説に感謝致しました。初めて新潟市を訪れ、楽しく新潟の歴史に触れることが出来ました。今後とも、お身体に気をつけて、名解説をお続け下さい。お礼まで。

山梨 岡林

編集後記

「まちづくり学校の山賀様からは、まち歩き目的・意義について、解説して頂きました。ありがとうございました。当会のメンバーは同校の卒業生でもあります。その意味でもこの度ご寄稿頂きました内容をガイド活動の糧にして活かして参りたいと思っています。

さて、今年七月一日から、ホームページをスマートフォンにも対応させようとして設備投資を行い、改善を行いました。今年七月〜十月間の総アクセス回数は六千九百八十六回、その内、スマートフォンからは千二百四十四回で約十八%を占めるに至りました。開通当初の短期間での統計であり、曖昧さもありますが、今後は更に利用率は伸びるものと思っております。その為にもホームページの充実にご協力頂きたいと思っております。

広報担当 勝見 進